



ラマン Chandrasekhara Venkata Raman

1888 年 インド 生

光学の研究を行った。1930 年に、光錯乱に関する研究とラマン効果(ラマンスペクトル)の発見により、初の欧州出身者以外・発の有色人種としてノーベル物理学賞を受賞。甥のスブラマニアン・チャンドラセカールも星の構造と進化の研究にて 1983 年に同賞を受賞している。